

2011/9/2

## 二階(食堂)から

岩村チエ子

まだまだ暑い日が続いていますが、その暑さの中にも、そよぐ風と高く澄み渡った空にはすでに秋の気配が感じられますし、夕暮れどき暮れゆく夏を惜しむかのように鳴きつづけるセミの声に重ねて秋の虫の声も聞こえますね。

暮れゆく夏、東日本大震災から11日で6ヶ月を迎えて未だに深い悲しみと多くの困難さと不自由さの中にある人たちに、一日も早く復興への道筋をとの思いが多くの人たちの心を駆りたて、いろいろな方面からの援助の輪が広がっていることに、自分ではそこに何のお手伝いも出来ていないのですが、思わず握った手に力が入って人知れず掛け声が出ています。

二階の食堂では大震災後しばらくは、炊き出しの弁当に使う梅干に不自由していて、夏の暑さにご飯を傷めない為に代用に何を使ったものかと、考えあぐねたものですが、秋風を感じるこのごろは嬉しい悲鳴が出るほどにあちらこちらから援助の梅干が届き、今のところ梅干で悩むことは無さそうです。変わらぬご支援に感謝いたします。